

# くろしお祭り・くろしお200人キャンプ

## 1. 事業の概要

### ○ 事業の趣旨

高知県東部地域及び徳島県南部地域の豊かな自然・歴史・文化を体験する活動、宿泊体験、世代間交流などを通して、青少年のチャレンジ精神、創造性、社会性を育む。

### ○ 実施期間

令和元年10月26日（土）～令和元年10月27日（日）

### ○ 対象者・参加者数（人数／定員）

くろしお200人キャンプ：小学3～6年生（153名／200名程度）

くろしお祭り日帰り参加者：どなたでも（302名／200名程度）

### ○ 活動プログラム

	1日目（土曜日）		2日目（日曜日）
12：00	送迎バス出発	6：30	起床
14：30	高知県立室戸体育館	7：30	朝食・清掃
15：45	むろと廃校水族館見学	10：00	オープンデー開会式
17：20	自然の家着		オープンデー開始
	夕食	12：00	昼食
19：30	キャンプファイア （雨天時：キャンドルファイア）	14：00	オープンデー閉会式
	入浴・就寝		オープンデー終了
		14：30	送迎バス出発

## 2. 活動の様子

### <1日目>

くろしお200人キャンプは、くろしお祭りの前泊プログラムとして開催された。参加者は高知県立室戸体育館でアイスブレイクを行った後、むろと廃校水族館を見学し自然の家に入所した。夜のキャンプファイアは、法人ボランティアが企画したゲームやキャンプソングを大いに楽しみ、普段の教育事業では体験できない大規模のプログラムを満喫していた。



### <2日目>

今年のくろしお祭り（オープンデー）は、室戸市内外の各種団体、近隣国公立施設の協力を得て、4つの団体による乗車コーナー、8つの団体による体験ブース、4つの団体による物販ブース、3つの団体による演奏・踊り出演などによって構成されたほか、メインイベントとしてアスレ

チック型アトラクションであるニンジャマックスや鮪の解体ショーを開催し、くろしお 200 人キャンプ参加者や当日来場者に、自由にブース巡りをしてもらった。参加者は自分の気に入ったブースでゆっくりと時間を過ごしたり、何度も同じブースにチャレンジしたりする姿が見られた。



### 3. 事業の成果と課題

#### ○ 参加者の感想

- ・くろしお祭りのストラックアウトや、ニンジャマックスが面白かった。
- ・くろしお祭りでお買い物（イヤリング、押し花のクラフト）ができたのが嬉しかった。
- ・違う学校に新しい友達ができてうれしかった。
- ・班行動でいろんな活動ができて楽しかった。もっときちんと班行動できると思った。
- ・お祭り全部楽しかった。

#### ○ 事業の成果

- ・早い時期から周知活動を継続した結果、2016 年以降最も来場者の多いくろしお祭りとなった。
- ・くろしお祭りを地域連携型のイベントにするとともに、くろしお 200 人キャンプの参加者が自由に買い物をできるようにしたことにより、参加者と出展者双方の満足度が高いイベントにできた。

#### ○ 事業の課題

- ・くろしお 200 人キャンプは参加者が多く、送迎バスの乗降や活動中の移動及び人数確認が想定外に時間がかかってしまうことがあったため、活動プログラムの工夫が必要と考えられる。